



わくわくどきどき科学教室inながしま 作って不思議、使って楽しい

7月18日、町教育委員会が「わくわくどきどき科学教室inながしま」を町開発総合センターで開催しました。これは、子どもたちがさまざまな科学体験をとおして、科学に対する興味や関心を深めることを目的に実施され、町内外から約350人が参加しました。「マイナス19.6℃の世界(写真右上)」や「高く飛ばせ！ジャイロコプター」、「PH試験用紙で酸とアルカリの違いを知ろう(左上)」「不思議なスライム」など全17ブースが町内外から出展。子どもからその保護者まで、みんなで科学の不思議を学び、楽しみました。

出水市から訪れた中田紫月さん(10歳・写真左下)は「製作段階では、ジャイロコプターの仕組みを不思議に思っていた。作るのは難しかったが、飛ばすのが面白かった。家に帰って家族と一緒に遊びたい」と満面の笑顔で話しました。



海水浴場で海開きの神事 安心安全に楽しんでほしい



7月14日、小浜海水浴場で、7月15日は、あづま海水浴場で海開きに合わせて安全祈願の神事が執り行われました。本町では、夏本番を迎え町内の海辺で海水浴をはじめ、夏祭り納涼祭、カーネーション大会など多くのイベントが開催されます。それぞれの神事には、町観光協会や周辺公民館長など約20人が出席し、海の無事故無災害を祈願。小浜海水浴場管理人の町田英史さんは「海水浴の他にもバンガローやキャンプ施設もあるので、安心安全に気持ち良く利用してほしい」と話しました。

長島イングリッシュデイ2026 スポーツを交えて英会話



7月19日、町教育委員会による「長島イングリッシュデイ2026」を町開発総合センターで開催し、町の子ども約70人が参加しました。この日は、4人のALT(外国語指導助手)と一緒にポッチャやモルックなど、海外発祥の室内スポーツを体験できるブースで英語を使用してスポーツを楽しむことができました。参加した上野麗羽さん(鷹巣小1年)は「ポッチャが簡単にできて一番楽しかった。英語は、サンキュー(ありがとう)を覚えた」と、覚えてた英語を披露しました。